

KOFU21

Chartered 1990

甲府 21 ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

今月の強調
テーマ

2026 年 9 月会報

EMC

2026 年 09 月 12 日 (土) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央 3 丁目 10-7
山梨 Y M C A グローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(フィンランド) “Waking the Sleeping Giant with Blue Music”「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」 “YMI-Empowering Life”「YMI-人生を力づける」
アジア太平洋 地域会長	ラチャン・マニカーン(タイ) “Awakening the Asia Pacific with Blue Music”「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」 “Empowering Communities, Inspiring Generations”「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」
東日本区理事	山下 真(十勝) 「挑戦なくして進化なし」 ～響け 挑戦のブルーミュージック!!～
あずさ部部长	大和田 浩二(松本) 「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう」 ～改革を引継ぎ、さらに発展させる!!～
甲府21クラブ会長	荻野 清 “Let's Be Friends Everyone” 「みんな、友達になろう!!」 “One Step Closer, Friends Forever” 「一歩近づけば、みんな友達」

今月の
聖句

喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにきなさい。平和を保ちなさい。
そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。
～コリントの信徒への手紙Ⅱ 13章11節

山縣 譲治

9月 巻頭言

九月の湘南ノスタルジー

甲府 21 ワイズメンズクラブ
会長 荻野 清



夏の名残と秋の気配がゆっくりと混ざり合う湘南。約半世紀前に、小生は大学の3年から四年間、指導教授の紹介で茅ヶ崎の中海岸という、海岸まで数分という絶好の場で過ごした。その当時は、ある程度洗練された町ではあったが、現在はその姿は皆無。それでも第二の故郷である。

今も年に数回は茅ヶ崎周りで友人のいる逗子へ向かう。特に九月中旬から下旬の湘南方面は絶品で、夏の喧騒が遠ざかり、砂浜や海岸沿いの Café やレストランが昔のまま戻ってくるように感じられるかも知れない。

逗子マリーナの白い建物群も、忘れがたい景色だ。ヨットのマストが風に揺れ、海面に映る光がきらきらと揺れる。学生時代、背伸びをして訪れたあの場所は、何所か異国の港町のようで、友人らと未来を語った所

だ。九月のマリーナは人影もまばらで、静けさの中に透かしだけ切なさが漂う。その切なさが、今の自分には心地よい。そしてマリーナから一歩出ると現実の世界が広がっている。小坪にある小さな漁港がそこにある。絶品の定食屋が二件並んでいる。そんな漁村の逗子が愛おしい。

逗子から海岸沿いを稲村ヶ崎方面へ走ると、レストラン『メイン』が見えて来る。ここは“ハンバーグ”が美味しく、食後のアメリカンコーヒーは抜群、と思って食していた。しかし、友人でもあるマスターが隠し続けていたある一言、「お前には隠していたが“海鮮丼”がメインだよ」と、数年前に言われ、大笑いしたことを覚えている。

九月の海風が吹き込んでくると、潮の匂いも、風の温度も、すべてが“季節の境目”を知らせてくれる。九月の湘南は、夏を惜しむ気持ちと、新しい季節への静かな期待が同居する。若い頃の自分が立っていた砂浜と、今の自分たちが歩く砂浜は、同じ海に抱かれながら、まったく違う時間を生きている。

8月会計報告

会計 水越正高

〔会計報告〕

2026 年 8 月末現在

水越

項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
8月の合計	28,000	0	28,000
8月末迄累計	62,600	0	62,600
達成率	25%	0%	18%

8月のニコニコ募金¥28,000-は全額、熊本地震への支援の為、東日本区を通じて寄付致しました。

8月第一例会報告

報告者：書記 藤原 琢也

◆8月 第1例会 報告書

【日時】2026年8月4日(火) 18時30分～

【場所】山梨 YMCA 3階 大澤英二記念ホール

【出席者】28名

1. 例会前行事の報告

内容：例会前に開催された以下の行事について報告が行われました。

7月16日：あずさ部新クラブ「東京ワイドウエスト」のキックオフ例会に参加しました。

8月1日：あずさ部評議会6名ワイズにて参加。
(荻野、飯田、小澤、輿水、佐藤、寺田) 敬称略

2. 各事業の近況報告（連絡事項）

内容：以下の各事業について、担当委員長より現在の進捗状況および活動報告が行われました。

①小澤ファンド委員長：ぶどうファンド順調に進行中。8/3 現在 68件受注。A46箱B32箱

②寺田プログラムドライバー委員長：ベビーカーコンサート日程が11月21日に変更。

③佐藤CS委員長：銀河鉄道の森現在の進捗状況の報告。デイキャンプ当日の運営お手伝い人員の要請。パンフレット配布依頼

④決定・確認事項：各事業の現状と日程・要請事項を全体で共有しました。

⑤次回への課題・タスク：銀河鉄道の森の当日スタッフの調整、および各事業の計画に基づく準備・運営（担当：各委員長・委員会）。

3. 8月のニコニコ募金について

熊本震災への支援金として回す（寄付する）ことを決定しました。

4. 9月の事業・例会案内（連絡事項）

内容：9月に予定されている以下の事業や例会について案内が行われました。

YVLF（ユース）、ぶどう棚下例会、銀河鉄道の森デイキャンプ、富士山例会（富士五湖クラブ）

決定・確認事項：9月開催の各事業の概要および日程を周知しました。

◆ 次回の予定

日時：[9月12日(土)]

場所：[勝沼 ぶどうの丘]

末筆ではございますが、連日の厳しい暑さの中例会にご出席いただいた皆様、そして単月で多数の事業やイベントが重なる多忙な時期にもかかわらず、準備や当日の運営・報告にご尽力いただいた各委員長ならびに会員の皆様に心より感謝申し上げます。

また、最近は全国的に地震や台風などの自然災害が多く発生しております。皆様におかれましても、日頃の備えや身の回りの安全には十分にご留意の上、お過ごしください。

9月以降も多くの例会・事業が予定されております。どうぞ体調には十分ご自愛のうえ、引き続き皆様のご協力とご参加をよろしくお願い申し上げます。

<8月例会出席者>

F

会員数	46名
第一例会出席者	28名
ゲスト出席者	名
メネット	名
総出席者数	28名
出席率(会員のみ)	60.9%

HAPPY BIRTHDAY

<9月の誕生者>

敬称略

<メン>

後藤哲夫（9月1日）松村禎夫 9月3日

山口了（9月9日）古屋秀樹（9月11日）

清藤城宏（9月14日）折笠浩二（9月16日）

小澤智之（9月28日）

<メネット>

功刀佳津子（9月23日）



今後の予定

9月21日(月祝)

銀河鉄道の森デイキャンプ

10月6日(火)

第一例会 山梨 YMCA 三階

10月10日(土)

県内外散策&グルメの会（メネット会）

10月27日(火)

第二例会（バザー準備会）

9 月 ぶどう棚下例会プログラム

2026 年 9 月 12 日 (土) 11:00 ~

会場: 甲州市勝沼『ぶどうの丘』

第一部 例会 (会議室)

<司会 藤原 琢也書記>

1. 開会点鐘 荻野 清 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条
奏楽 荻野 優子メネット
3. 今月の聖句・一言 山縣 譲治ワイズ
4. 会員一言 山口 アワイズ
5. 会長挨拶、ゲスト紹介 荻野 清 会長
6. 卓話 「生きるよろこび」
ミシェル・ゴーチエ神父

7. 諸報告
8. YMCA 報告・諸報告
9. YMCA の歌

10. 閉会点鐘 荻野 清 会長

…記念撮影…

第二部 懇親会 (バーベキュー会場)

<司会 山口 アワイズ>

- ①開会の辞 荻野 清 会長
- ②食前の感謝 あずさ部部长 大和田浩二様
- ③乾杯 あずさ部直前部長 山口 直樹様

…懇談… ゲストスピーチ&アピール

- ④ハッピーバースデー
- ⑤閉会挨拶 葉袋 勝 副会長

<ミシェル・ゴーチエ神父>

1942 年 7 月 6 日生まれ。1969 年カトリック司祭叙階。来日してから富士カトリック教会、菊名カトリック教会、三笠カトリック教会、静岡カトリック教会、甲府カトリック教会の主任司祭を歴任。その間に学校法人静岡聖母学園理事長、学校法人聖テレジア学園理事長を兼務。

現在、パリ外国宣教会

ワイワイ遊園地 参加報告



2026 年 8 月 26 日午後 1 時 招待状を頂いたの
で、甲府 21 ワイズメンズメンバーで、山梨 Y M
C A 夏季プログラム「わいわい遊園地」へ行っ
てまいりました。2 階では、ポップコーンの無料
配布。プライムのお部屋を使って、塩バターと
Maple の 2 種類のポップコーンは、廊下まで匂
いがあふれて、大評判。売り子さんの子どもた
ちも、お客さんとしてきている子どもたちも、み
んな賑やか、明るい。同じ 2 階では的当てゲー
ム。キッズパラダイスルームを使って直径 85
センチの的にベルクロ(マジックテープ)のつい
たボールを投げるゲーム。距離 1.2 メートル。
景品は・・・ヤクルト。なかなか微笑ましいイベ
ント。そして 1 階では、スイカ割りです。甲府 2
1 荻野会長が差し入れした 6 個のスイカ。子ど
もたちの列。ワクワクが伝わってきます。ルー
ルは簡単。目隠しをして前方に置いた西瓜を竹
刀のような棒で割る。但し、学年に合わせてく
るくる廻ってからチャレンジ。3 年生は 3 回ま
わって、棒を振る!

平賀さんが子どもたちのなかでもひときわ は
しゃいでやっていたのが印象的でした。
ご招待ありがとうございました。



友達になろう～YMCA編～

今回は新企画として、YMCAの現場で汗を流す若手スタッフと、全体を優しく見守るベテランメンバーによる「雑談対談」をお届けします。「YMCAの若手スタッフって普段どんな想いで子どもたちと接しているの?」「ワイズとYMCA、お互いにどんな仕事をしているのかな?」ワイズメンズクラブとしてYMCAの活動を知り、ある意味「友達になっていきたい」と思っています。

＜雑談対談に参加してくださった方々＞



田草川 啓
リーダー名:たくしー

ベテラン側の聞き手・
温かいフォロー担当



菊池 央人
リーダー名:ひろっち

若手職員(25歳、子
ども・野外活動担当)



渡邊 結菜
リーダー名:ゆいびー

手職員(子ども・学童
活動担当/2025年着
任)

【1】YMCAに入ったきっかけ

今回は広報誌「甲府21ブリテン」を通して、スタッフのありのままの素顔や日常を知ってもらおうという企画です!まずは若手のおふたり、ひろっちとゆいびーがどんなきっかけでこの仕事に入ったのか教えてください。

ゆいびー:私は学生時代のボランティアやアルバイトがきっかけでした。「子どもに関わる仕事をやってみようかな」という軽い気持ちからスタートしたんですが、現場で子どもたちと過ごすうちにどんどん魅力を感じるようになって。正式に職員として着任したのは令和7年からですが、毎日楽しく子どもたちと向き合っています!

ひろっち:僕は今25歳なんですが、実は大学1年の冬(19歳頃)からボランティアやアルバイトとしてずっと関わってきたんです。だから期間でいうと5～6年くらいになりますね。2023年から正式に職員として働いています。

田草川:19歳から!それはすごいね。10代や20代前半の若いうちから、ボランティアや子ども・福祉に関わる活動を選択して、それをそのまま仕事にしてい。本当に頭下がりますね。

本当に尊敬しますよね。若い時のエネルギー熱量そのままに活動を続けていること。若い頃から現場を支えてくれていること。本当に心強い存在です。

【2】休日も仕事のことばかり!?真面目すぎるプライベート

ではみなさんの休日の過ごし方についてお伺いしたいと思います。

ひろっち:日曜日は山梨市の教会に通っているんですが、その帰りにダイソーやオギノ、業務用スーパーなんかに買い出しに行くんです。でも、自分の買い物をしていても、つい「あ、これ学童の工作で使えるかも」「野外活動の備品にいいな」って仕事目線で探してしまっ(笑)。

田草川:休日まで仕事や子どもたちのことを考えているんだねえ。根っからの仕事好きだ。

ひろっち:やるが残っていると気になって休めないタイプなんです。体力を温存するために、最近は温泉に行くのも控えています。温泉に行くと逆に疲れて風邪をひきそうになるので、家でじっくり体を休めるようにしています!

ゆいびー:私は休日はしっかりリフレッシュ派です!アイドルのライブに行ったり芸術鑑賞をしたりして感性を磨く時間を大切にしています。オンとオフを切り替えて、また現場でパワフルに活動できるように整えています。アイドル

【3】YMCAとワイズ。お互いを理解し、もっと強い「絆」をつくるために

こうやって話を聞いていると、若手のみなさんが日々の学童支援や現場でどれだけ大変な思いをし、どんな情熱を持って動いているかわかります。

田草川:そうなんです。逆にYMCAの若手職員側も、ワイズがどんな団体でどんな支援をしてくれているのか、まだ詳しく知らない部分もあると思う。お互いがどんな活動をしているのかを理解し合える「顔の見える関係」をしっかり作っていくことが、今後のスムーズな連携やイベント成功につながるはずなんです。

ひろっち:僕もワイズの活動にはすごく関心があって、事前にホームページやFacebookをチェックして、どんなメンバーがいてどんな新しい取り組みをしているのか見るようにしています!広報発信を通して、もっと交流が広がると嬉しいです。

今回、中田総主事にご協力いただき、スタッフの素顔や日常のリアルな会話をそのままブリテンに掲載する企画をスタートさせました!「毎月頑張っているな～」とクスッと笑いながら読んでもらい、まずは親しみを持っていただければ大成功だと思っています。この親しみやすさを武器に認知度を高めていきます。ワイズ諸氏も、YMCA館内で見つけたら、「リーダーネーム」で呼んであげてはどうでしょうか。そうすれば、「友達になれるかも。」

次回どうぞお楽しみに!



“Let’s Be Friends Everyone”
“One Step Closer, Friends Forever”
「みんな、友達になろう!!」
「一歩近づけば、みんな友達」



AIについて考える

ブリテン委員長 野々垣 和宏

AIの頭の中 (例: 文章の要点をまとめて!)

AIは、たくさんのことを学び、言葉の関係を調べ、重要なことを整理し、最適な文章を作り出しています。

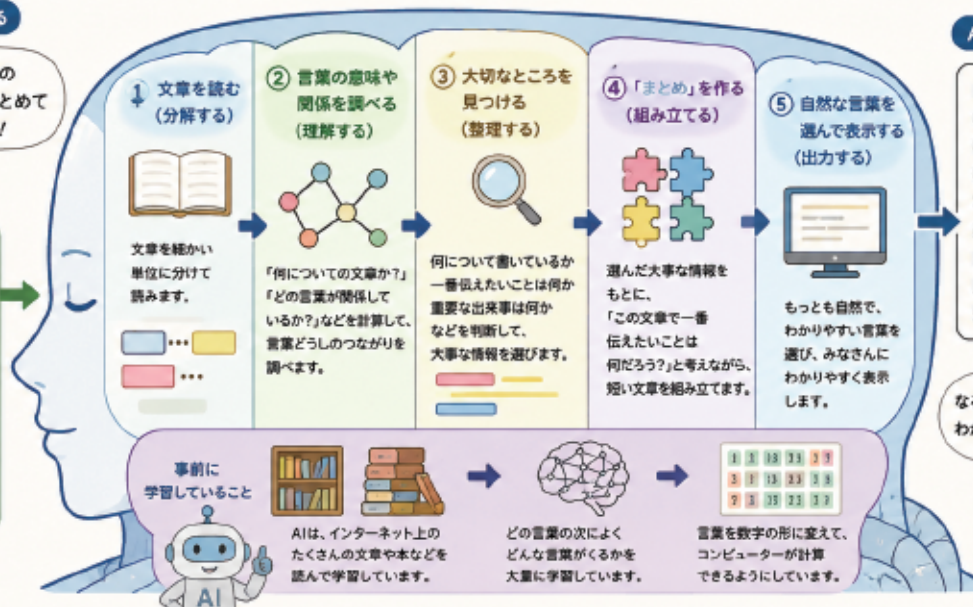
1 人間がAIにお願いする



この文章の
要点をまとめて
ください!

- 元の文章 (入力)

日本では春になると桜が咲きます。多くの人が桜を見るために公園などを訪れます。桜の下で家族や友達と食事をしたり、写真を撮ったりする人もいます。このような日本の春の風景は、海外の人にもよく知られています。



AIからの答え (出力)

日本では春になると桜が咲き、多くの人が桜を見に行きます。桜の下で食事をしたり、写真を撮ったりして楽しめます。桜は日本の春を代表する風景として、海外にも知られています。

なるほど!
わかりやすい!

まとめ: AIの流れ

- ① 読む → ② 理解する → ③ 整理する → ④ 組み立てる → ⑤ 出力する
- という順番で、答えを作っています。

AIの得意なこと

- ・たくさんの情報をすばやく読むこと
- ・大事なところを見つけて整理すること
- ・わかりやすい文章を作ること

大切なこと

AIはとても役に立つ道具ですが、いつも正しいとは限りません。自分で確かめたり、考えたりすることもとても大切です。

AIの苦手なこと

- ・まだ知らないことや新しいこと
- ・本当かそうかの判断 (事実確認)
- ・人の気持ちや経験に基づく判断



ブリテン委員長 野々垣和宏です。

常日頃からAIを使って仕事をしている方、趣味をしている方、今やAIを使わない日はないかもしれません。

では、みなさんはそのAIがどのように「考えて」いるのか気にしたことはありますか?

1. どの言葉の次に、どんな言葉が来るのか?

AIはインターネット上のたくさんの文章や本などを読んで学習しています。そして、「言葉」どうしの関係を計算しています。たとえば、

「むかしむかし、あるところに、おじいさんと」とあったら、次に「おばあさん」が来る確率が高い、ということを学習するのです。

「今日は天気は_____。」という文章を見たら、

「晴れ」「良い」「悪い」

など、文章の続きにどんな言葉が現れるのかを大量に学習します。

2. 「入力された文章を数字に変える」

ここが人間には見えない重要な部分です。AIは、「りんご」「学校」「楽しい」などの言葉を、そのまま人間のように理解しているわけではありません。コンピューターが計算できるように、数字の集まり (ベクトル) に変換します。

そして、

> 「この言葉とこの言葉は近い」

> 「この言葉とこの言葉は関係が深い」

といったことを計算します。

3. 「次はどんな言葉が一番ふさわしい」

AIは、たくさんのことを学び、文章の中の言葉の関係を調べ、重要なことを整理し、『次にどんな言葉を使えばよいか』を計算

しながら、答えを作っているコンピューターです。だから、もっともらしい答えを作るのがとても上手です。事実と異なることを答えることもあります。

4. ニューラルネットワーク」や「Transformer」

「ニューラルネットワーク」とは? 名前は難しいですが、「たくさんの小さな判断係が、協力して答えを出す仕組み」。例えば、「猫」の写真をAIに判断してもらった場合を考えます。たくさんの「判断係」が、「耳がある」「目がこの形」「ひげがある」「足の形が似ている」など、いろいろな特徴を調べます。

一人の判断係だけでは分からなくても、たくさんの判断係が協力することで、「ネコらしい!」という答えに近づいてきます。

Transformerは、「文章の中で、どの言葉とどの言葉が関係しているのかを、とても上手に調べる仕組み」です。例えば、「太郎は学校に行きました。そこで先生に会いました。」という文章があります。

AIが「そこで」という言葉を見たとき、「そこでって、どこ?」と考えます。すると、「学校」という言葉との関係が強いことを見つけます。つまり、「そこで」←→「学校」という関係を計算するわけです。これを Attention (アテンション) = 注意・注目と呼びます。

ニューラルネットワークは「たくさんの計算係」。

Transformerは「文章の中で、どの言葉に注目すればよいかを上手に見つける仕組み」。

生成AIは、それらを使って、次に来る言葉を予測しながら文章を作っている。

どうでしょうか。なんとなくああ、そういうものなのか、とお感じいただければ幸いです。

※この図は、ChatGPTに描いてもらいました。

ペンリレー

敬老の日を深掘りしてみたら

赤根 学

敬老の日は、国民の祝日として1966年(昭和41年)に設けられ、「長年社会に貢献してきた老人を敬愛し、長寿を祝い、老人福祉への関心を深める」ことを趣旨としています。2002(平成14年)年までは毎年9月15日でしたが、2003年(平成15年)から、9月の第3月曜日となり、敬老の日は年ごとに変わります。今後この制定に変更がなければ、2026年は9月21日(月)、2027年は9月20日(月)となります。

敬老の日の由来

敬老の日の由来は、兵庫県多可郡野間谷村(現在の多可町八千代区)村長であった門脇政夫氏が、「老人を大切に、お年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨で、1947年(昭和22年)9月15日に「敬老会」を開催したことが始まりとされています。翌年の9月15日には「としよりの日」として村独自の祝日となり、1950年(昭和25年)に兵庫県が「としよりの日」を制定。1951年(昭和26年)には、中央社会福祉協議会(現全国社会福祉協議会)が「としよりの日」を定め、1966年(昭和41年)に現在の「敬老の日」となりました。

敬老の日のお祝いは、何歳になったら贈るという決まりはありません。昔は、還暦を迎えることを契機にお祝いをすることも多かったのですが、最近の60歳はまだまだ元気で若々しく、現役世代の方が多いため、敬遠する方もいらっしゃるかもしれません。おすすめのタイミングをご紹介します。

●お孫さんが誕生したら

おじいちゃん、おばあちゃんになった喜びが一層深まりますね。

●60歳、65歳以上で仕事をやめられたときに
長年のお仕事、お疲れ様でした。という感謝の気持ちを込めて、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に労ってはいかがでしょうか。

●70歳、80歳という節目の年齢

記念日となる目安の年齢なら、長寿を祝う気持ちを伝えやすくなります。

敬老の日のプレゼントは
お花が1番

→人気のある りんどう



◆YMCA便り◆

銀河鉄道の森から「わくわく」を育む未来へ

総主事 中田 純子

9月、防災を強く意識する季節です。この夏の連日の猛暑や豪雨に加え、熊本地震や千葉豪雨の記憶、気候変動や気温上昇、連日のクマ出没など、自然の調和が大きく揺らぐ日々が続いています。「壊れた自然の循環を取り戻せるのか」という大きな問いの前に立つとき、私たちは「すべての命はつながり、生かされている」という原点に立ち返らされます。かつての姿にすぐ戻すことは難しくても、自然への敬意と命の尊さを心に留め、変化した環境に適応しながらたくましく生きる工夫が今、求められています。

向き合うためのカギであり、心豊かに育つための魔法の言葉は「わくわく」です。

YMCAが大切にしてきた「Spirit, Mind, Body (スピリット・マインド・ボディ)」をフルに呼び覚まし、森の中で風に押され、仲間と協力して試練を乗り越える。自然の恵みと厳しさの両方を全身で受け止め、心躍らせ「わくわく」の体験を重ねること。それこそが、いざという時に自分と他者の命を守る「本物の知恵」へと変わっていきます。

自然を愛し、慈しみ守ることこそが、私たちが地球に届けられる最高の「恩返し」です。そんな命と出会う冒険の舞台が、山梨YMCAの「銀河鉄道の森」にあります。

創立80周年記念「施設整備募金2026」のスタートに伴い、「まだ見ぬ森の見学会をしよう。」「東屋がないのであれば、作っちゃおうじゃないか」「あの森にいろいろな人を招こう」と少年のように目を輝かせたワイズメンの皆様から熱いお声をいただきました。

これまでも試練のたびに温かい言葉と祈りと募金で支えてくださった皆様の情熱という「わくわく」と、この森に集う子どもたちの「わくわく」の好奇心が重なり合う時を想像すると、私自身胸が躍り、未来への希望の光が差し込んできます。

この大切な拠点をどのように生かすのかが試される今、「施設整備募金2026」へのご協力をよろしくお願い申し上げます。「どんなところ?」と心が「わくわく」された方、ぜひ山梨YMCA生涯学習事業までお気軽にお問い合わせください。

「わくわく」を育む希望の未来へ向かって共に歩んでまいりましょう。